



WWF®

JPN

2012

17

detergents  
fabric softeners



使ってもいいの?  
暮らしの中のパーム油



© James Morgan / WWF-International

アブラヤシの果房

# CONTENTS

はじめに	3
知らなかつた、こんな身近に使っていたなんて	4
気にもしなかつた、パーム油がどこから来るのか	5
もったいない！ パーム油のために熱帯林が犠牲にされているなんて	6
許せない！ パーム油が地域住民の生活を脅かしているなんて	7
あるんだ、人にも環境にも配慮したパーム油	8
よかったです、私たちにもできることがある	9

# はじめに

「そうと知っていたら買わなかつたのに・・・」といった経験をお持ちでしょうか。経済のグローバル化が進み、製品中の原材料がどこでどのように生産されたのかを知ることが難しくなっています。その結果、意に反するような商品を知らずに購入させられていることがあります。

熱帯林と地域社会を犠牲にして得られたパーム油製品はまさにその一つといえます。パーム油？自分には関係ないと思うかもしれません、実は私たちの誰もがパーム油を毎日のように使っているのです。

いきなりそう言われてもパーム油を利用している自覚さえない私たちにはどうしたらよいのかわかりません。本冊子はそのような人々がパーム油問題のあらましを知り、消費者としての行動を考える手助けとなるよう作成しました。ご家族で、ご友人たちと、また地域のグループ等で活用していただければ幸いです。



© WWF-Canon / Richard Stonehouse

# 知らなかつた、 こんな身近に使つていたなんて

## パーム油が利用される製品の例

### ◎食品

食用油、インスタント麺、パン、ペストリー、マーガリン、ショートニング、コーヒー用クリーム、冷凍食品、レトルト食品、ドレッシング、カレーのルー、フライドチキン、ドーナツ、フライドポテト

### ◎嗜好品

ケーキ、チョコレート、ビスケット、スナック菓子、アイスクリーム

### ◎洗剤等

石鹼、洗剤、トイレタリー製品

### ◎化粧品・パーソナルケア製品

口紅、各種クリーム、シャンプー、デオドラント、歯みがき

### ◎その他

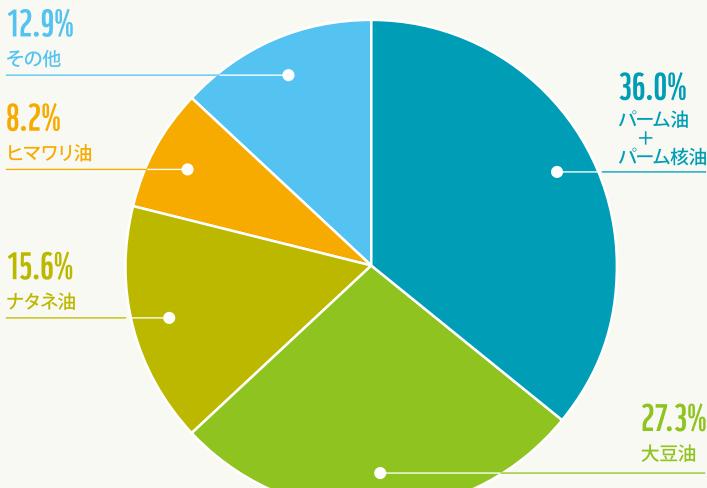
医薬品、プラスチック、塗料、ペットフード、バイオ燃料



© WWF-Canon / Richard Stonehouse

## なぜパーム油がそんなに広く使われるの？

今日、パーム油は世界で最も多く生産される植物油脂です。日本でも1960年代から年々輸入量が増加し、今日ではナタネ油に次いで2番目に多く使われ、国民一人当たり年に4kg以上も消費しています。他の植物油と比べ生産性が高く、面積当たり大豆の10倍もの油がとれるのです。その上、安価で多用途に利用しやすい性質を持っています。約8割が食用、2割は洗剤等の化成品原料として広範囲に使われ、スーパーマーケットにある製品の半数近くに利用されているといわれるほどです。これまで気づかなかったとしても無理ありません、日本では「植物油脂」との表示しかされないことが多いからです。



◎世界の植物油生産量の比較 (2011、Oil World誌)

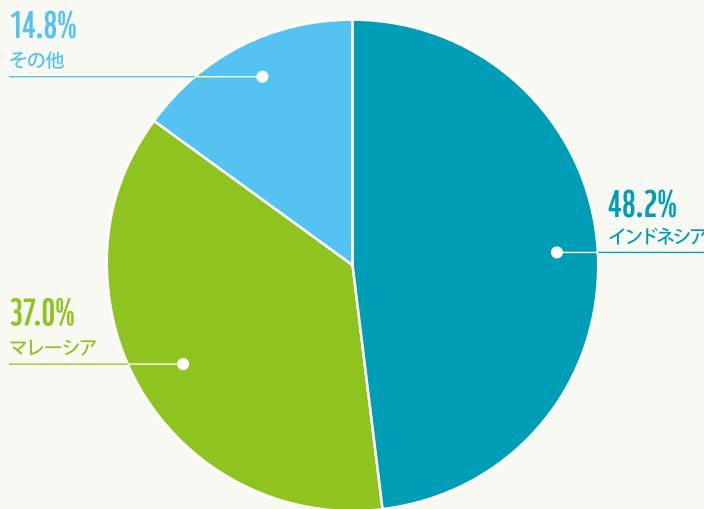
# 気にもしなかった、 パーム油がどこから来るのか



## パーム油は熱帯生まれ

パーム油は熱帯の湿潤な地域で育つアブラヤシの果肉を絞って得られます。(種の部分からは性質の異なるパーム核油が得られます。)世界の生産量の85%がインドネシアとマレーシアの2か国に集中しています。その生産単位は、収穫されたアブラヤシ果房を絞る搾油工場を中心に直営農園や契約農家を周辺に配した広大なプランテーションです。

パーム油は食品や工業製品の原材料だけでなく、近年バイオ燃料としての利用も検討され、需要は今後とも伸び続けると予測されています。そのためアフリカ・中南米でも開発意欲が急速に高まっています。



◎パーム油の国別生産量の比較 (2011、Oil World誌)

# もったいない！ パーム油のために 熱帯林が犠牲にされているなんて

## パーム油と熱帯林どちらが大切？

パーム油が国際的に問題視されている理由の一つは、アブラヤシ農園開発のためにインドネシア、マレーシアの広大な熱帯林や泥炭林などが次々に伐採され、燃やされていることです。

オランウータン、アジアゾウ、スマトラトラをはじめとする希少な野生生物が絶滅寸前に追いやられ、貴重な生物多様性が急速に失われています。おまけに、膨大な量の温室効果ガスが大気中に放出され、2006年にはインドネシアを世界第3位の温暖化ガス排出国に押し上げたほどです。

いくらパーム油が儲かる産物といえども、その代償として失うものの大きさは、生産国のみならず世界にとっても計り知れません。

オラウータンの親子（マレーシア・ボルネオ島リハビリテーション・センター）



(C) Martin Harvey / WWF-Canon



(C) Alain Compost / WWF-Canon

プランテーションをつくるため、製紙会社により違法に伐採された原生林（インドネシア・スマトラ島テッソ・ニロ）



(C) James Morgan / WWF-International

RSPO認証を取得したパーム油プランテーション（インドネシア・スマトラ島）

# 許せない！ パーム油が地域住民の生活を脅かしているなんて

## プランテーションが引き起こす社会問題

影響は自然環境だけではありません。プランテーション開発に伴う森林伐採が、それまで森林と共に存してきた先住民や地域住民の生活の場と糧を一方的に奪っている事例が度々報告されています。また、プランテーションの経営においても、劣悪な労働環境、低賃金、児童労働といった社会問題が指摘されています。国の法律や規制があっても、法の施行や監視体制などが不十分な国々では、からならずしもそれらがきちんと守られるとは限りません。

先住民、タラン・ママ人。  
パーム油プランテーション開発のために原生林が失われたことで、彼らの伝統的な生活が脅かされている（インドネシア・スマトラ島）



(C) Mark Edwards / WWF-Canon

# さて私たちは どうしたらよいのでしょうか？

事態はさし迫っており、  
このままでは今残されている熱帯林も先住民も  
消えてゆくことは確実です。



欧米で「パーム油をボイコットしよう！」という声が  
大きくなっているのも無理ありません。  
しかしこれだけ広く、かつ大量に使用されている  
パーム油の消費の一部を控えても、何の解決にもなりません。  
むしろボイコットするなら、  
これまで見てきたような問題のある農園からの  
パーム油に限るべきでしょう。



とはいっても消費者が「良いパーム油」と「悪いパーム油」を  
見分けることなどできるのでしょうか？



# あるんだ、 人にも環境にも配慮したパーム油

## 持続可能なパーム油のための 国際な取り組み、RSPO

環境や社会に十分配慮したアブラヤシ農園を積極的に支持することで、パーム油産業全体を変えようという前向きの解決策があります。

WWFは2004年に、賛同する他の団体と共に「持続可能なパーム油のための円卓会議」(RSPO)を設立し、原生林等の伐採禁止、地域社会との協調などを含む「原則と基準」に基づく認証制度を立ち上げました。生産者、油脂会社、商社、銀行、製造業、小売業、NGO等幅広い利害関係者の参加を得て運営されています。

RSPO認証された生産農場は徐々に増加しており、2012年には世界の生産量の約14%を占めるほどになりました。しかし市場では認証油に対する認知がまだ低すぎることが大きな課題です。

持続可能な  
パーム油のための  
円卓会議(RSPO)の  
年次会合



(C) Y.Murata/WWF-Japan



RSPOは7つの立場の異なるステークホルダーの参加のもとで、持続可能なパーム油産業への転換に向け取り組んでいます。

# よかつた、 私たちにもできることがある

持続可能なパーム油を使用、または、その生産に貢献している製品には次のようなロゴマークが付けられます。(事業者によってはロゴマークを付けない場合もあるので、ホームページで確認するか、問い合わせてみましょう。)

## ◎持続可能なパーム油製品につけられるロゴマークの例

【RSPO認証マーク】



【グリーンパーム】



(C) WWF-Japan

## 「持続可能なパーム油」を育てるのは、 生産者ではなく消費者です

いくら生産者が努力しRSPO認証を得ても消費者がそれらを含む製品を積極的に購入しなければ、この仕組みは機能しません。ユニリーバ、ネスレ、マクドナルド、カルフールなどの国際的な企業は2015年までに認証油への100%切替えを宣言しています。背景には欧米消費者の高い関心があります。

残念ながら日本ではまだRSPOに参加する企業は少なく、RSPO認証やグリーンパーム認証(\*)を取得した製品を店頭で頻繁に目にすることはありません。日本企業の対応が鈍いのは、消費者の認識の低さに安住しているからでしょうか。

さあ、状況を変えることのできるのは私たち消費者です。

- まずは製品に使われる植物油の由来に関心を持ちましょう。
- 次にRSPO認証やグリーンパーム認証を受けた製品を積極的に選びましょう。
- 何の動きも示さないメーカーや小売業者に対し説明を求め、積極的な対応を働きかけましょう。

今何より重要なのは、そのような行動を通じ「熱帯林を犠牲にしたパーム油はもう使わないぞ！」というメッセージを日本から現地生産者に届けることです。手遅れになる前に。

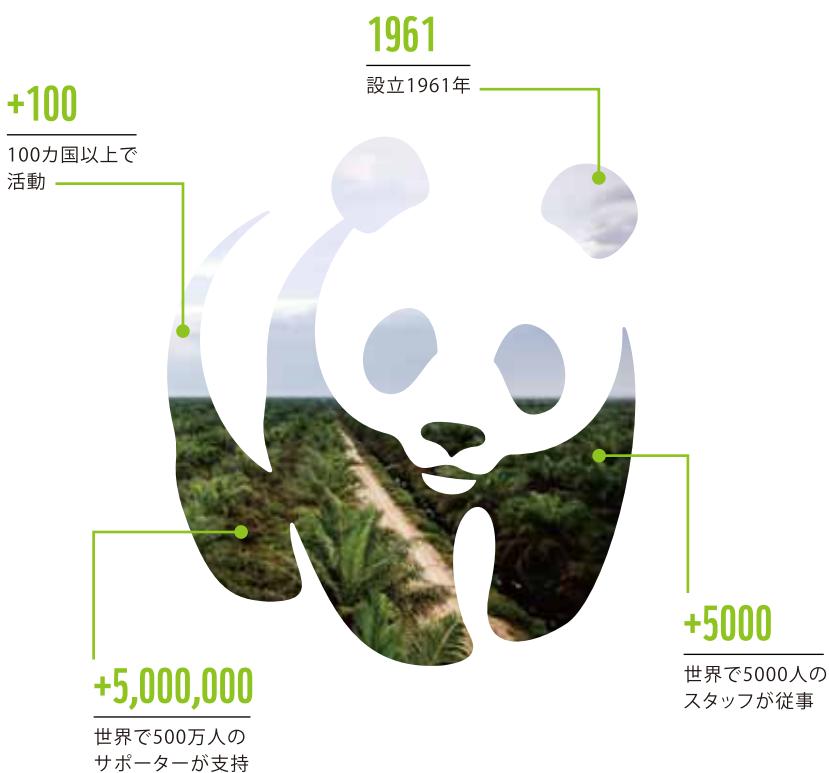
さらに詳しく知りたい方は、WWFホームページをご覧ください。

<http://www.wwf.or.jp/>

WWF パーム  で検索

(\*) グリーンパーム(Green Palm)とはRSPO認証を受けたパーム油生産者を支援する証書取引プログラム

# WWF JAPAN in numbers



私たちはWWFです

人と自然が調和して生きられる未来を目指して、地球環境の悪化をくい止めるさまざまな活動を実践しています。

[www.wwf.or.jp](http://www.wwf.or.jp)

WWF ジャパン（公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン）

〒105-0014 東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6F

TEL:03-3769-1711 FAX:03-3769-1717